

匝瑳市男女共同参画に関する市民意識調査

ご協力のお願い

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

本市では、「男性も女性もお互いを尊重し、支え合い、みんなが幸せに暮らせる社会をめざす」ことを基本理念とする「匝瑳市男女共同参画計画」を平成22年2月に策定し、施策を展開してまいりました。

計画の見直しにあたり、市民の皆様のご意見をうかがい、市が今後取り組むべき施策に反映させるため、意識調査を実施することといたしました。

調査の対象として、市民の皆様の中から満20歳以上の方2,000人を無作為に選びましたところ、あなた様に調査をお願いすることとなりました。つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、記入内容につきましては、無記名でお願いし、調査結果は統計的に処理します。個人の名前が公表されることはありませんので、お考えのままをご記入ください。

平成26年1月

匝 瑳 市

<ご記入にあたってのお願い>

- あて名のご本人がお答えください。
- 質問ごとにあてはまる回答の番号を○で囲んでください。
- ○をつける数は、質問ごとに指定していますので、その範囲でご記入ください。
- 回答が「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、()内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、質問の注意書きをご確認ください。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

1月31日（金）までにご返送ください。

<問い合わせ先>

〒289-2198 匝瑳市八日市場ハ793番地2 匝瑳市役所企画課企画調整班
(電話) 0479-73-0081 (FAX) 0479-72-1114
(Eメール) k-kikaku@city.sosa.lg.jp

あなたご自身のことについて

F 1 あなたの性別（○は1つ）

1. 男性	2. 女性
-------	-------

F 2 あなたの年齢（○は1つ）

1. 20歳～29歳	4. 50歳～59歳
2. 30歳～39歳	5. 60歳～69歳
3. 40歳～49歳	6. 70歳以上

F 3 あなたの主な職業は次のうちどれですか。（○は1つ）

1. 農業	5. 会社員	9. パート・アルバイトなど
2. 漁業	6. 公務員・団体職員	10. 無職
3. 商工業	7. 専業主婦・主夫	11. その他（ ）
4. 自営業	8. 学生	

F 4 あなたの家族構成は、次のうちどれにあてはまりますか。（○は1つ）

1. ひとり暮らし	4. 親と子ども夫婦（二世世代家族）
2. 夫婦のみ（一世世代家族）	5. 親と子ども夫婦と孫（三世世代家族）
3. 親と未婚の子ども（核家族）	6. その他（ ）

男女平等に関する意識について

問1. 今の生活や社会の状況をどのように思っていますか。（○はそれぞれ1つずつ）

	男性のほう が優遇 されている	どちらか かといえ 男性のほう が優遇 されている	男女 平等 である	どちらか かといえ 女性のほう が優遇 されている	女性のほう が優遇 されている	わからない
1. 家庭生活では	1	2	3	4	5	6
2. 地域活動の場では	1	2	3	4	5	6
3. 学校教育の場では	1	2	3	4	5	6
4. 職場では	1	2	3	4	5	6
5. 政治の場では	1	2	3	4	5	6
6. 法律や制度上では	1	2	3	4	5	6
7. 社会通念・慣習では	1	2	3	4	5	6
8. 社会全体では	1	2	3	4	5	6

問1-1. 問1の「8. 社会全体では」の項目で、「1」または「2」と回答した方のみお答えください。社会全体の中で、男性のほうが優遇されていると思う原因は何だと思えますか。(〇は3つまで)

1. 男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりが根強い
2. 「男は仕事」という社会的風潮があり、仕事優先の考え方が根強い
3. 男女の平等について男性の問題意識がうすい
4. 男女の平等について女性の問題意識がうすい
5. 男女の差別を人権問題としてとらえる意識がうすい
6. 女性が能力を発揮できる環境や機会が十分ではない
7. 能力を発揮している女性を正当に評価する仕組みが十分ではない
8. 育児、介護などを男女が共に担うための制度やサービスなどが整備されていない
9. 女性の意欲や能力が男性に比べて劣っていると考える人がある
10. その他 ()

問2. あなたは、次の言葉を知っていますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

	てよく いる 知 っ	る知少 っ つ て し は	ると聞 が あ こ	い知 ら な
1. 男女雇用機会均等法	1	2	3	4
2. 男女共同参画社会基本法	1	2	3	4
3. 女子差別撤廃条約	1	2	3	4
4. ジェンダー(社会的・文化的につくられた性別)	1	2	3	4
5. セクハラ(セクシャル・ハラスメント)	1	2	3	4
6. DV(ドメスティック・バイオレンス)	1	2	3	4
7. ポジティブ・アクション(積極的改善措置)	1	2	3	4
8. ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	1	2	3	4

男女の役割分担について

問3. 次に掲げる考え方について、あなたはどのように思いますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

	そう 思 う	い え ど ち ら か と 思 う	い え ど ち ら か と 思 わ な い	い そ う 思 わ な い	い え ど ち ら か と も 思 わ な い
1. 男は仕事、女は家庭	1	2	3	4	5
2. 性別にかかわらず、個性と能力を重視したほうがよい	1	2	3	4	5
3. 性別にかかわらず、家事をこなしたり、職業技術を身につけることが必要である。	1	2	3	4	5

問4. あなたは結婚されていますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------------|----------|
| 1. 未婚 | 3. 離別・死別 |
| 2. 既婚 (入籍せずパートナーと暮らしている方を含む) | |

問4-1. 問4で「2」と回答した方のみお答えください。あなたの家庭では、次の項目について、どなたの役割になっていますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	主に夫	主に妻	家族で分担	その他の人 (男性)	その他の人 (女性)	該当しない
1. 食事のしたく	1	2	3	4	5	6
2. 食事の後片付け	1	2	3	4	5	6
3. 掃除	1	2	3	4	5	6
4. 洗濯	1	2	3	4	5	6
5. ごみ出し	1	2	3	4	5	6
6. 食料品・日用品の買い物	1	2	3	4	5	6
7. 地域行事などへの参加	1	2	3	4	5	6
8. 乳幼児の世話	1	2	3	4	5	6
9. 家族の介護	1	2	3	4	5	6
10. 子どもの勉強やしつけ	1	2	3	4	5	6
11. 学校行事への参加	1	2	3	4	5	6

問5. あなたが平日、次のことに使う時間はどれくらいですか。____に時間をご記入ください。

1. 家事の時間	1日当たり平均 _____ 時間 _____ 分
2. 育児の時間	1日当たり平均 _____ 時間 _____ 分
3. 介護の時間	1日当たり平均 _____ 時間 _____ 分
4. 仕事の時間 (通勤時間を含む)	1日当たり平均 _____ 時間 _____ 分
5. 趣味の時間	1日当たり平均 _____ 時間 _____ 分

仕事について

問6. あなたがお考えになる「女性の仕事や結婚についての理想像」は、次のどれに最も近いですか。(○は1つ)

1. 結婚をせずに、仕事を続ける
2. 結婚はするが、出産はせず、仕事を続ける
3. 結婚をし、出産をし、仕事も続ける
4. 結婚を機に仕事をやめて家庭に入る
5. 出産を機に仕事をやめて家庭に入る
6. 結婚を機に仕事をやめて家庭に入るが、子どもが一定の年齢に達したら、再び仕事に就く
7. 出産を機に仕事をやめて家庭に入るが、子どもが一定の年齢に達したら、再び仕事に就く
8. 仕事には就かずに家庭に入る
9. わからない
10. その他()

問7. 女性が仕事をもち続けるうえで、障害となっているものは何だと思えますか。(○は3つまで)

1. 女性の雇用機会や採用数が男性より少ないこと
2. 長く働き続けられるような職場の条件や制度が不十分なこと
3. 職場での結婚や出産、育児を支援する制度や雇用主の理解が不十分なこと
4. 保育施設や保育制度が不十分なこと
5. 家族の理解が得られないこと
6. 子どもや病人、高齢者の世話が女性だけにまかされること
7. 仕事と家事の両立がむずかしいこと
8. 特になし
9. その他()

問8. 雇用の場への女性の進出が進む中で、女性が働きやすい環境をつくるため、どのようなことが必要だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 再雇用制度の促進
2. 保育施設や保育サービスの充実
3. 産後休暇明け・育児休業明けの保育体制の充実
4. 育児休業制度の定着促進
5. 介護、看護との両立を支援する制度の整備
6. 昇進、昇給や仕事の分担など労働の場での男女平等の促進
7. 男性の家庭生活(家事・育児・介護など)への参加促進
8. 家事の省力化、外部化などによる家事負担の軽減
9. その他()
10. わからない

問9. 現在、働いている方のみお答えください。あなたは機会があれば管理職になりたいと思いますか。(○は1つ)

1. なりたい	5. すでに管理職である
2. どちらかといえばなりたい	6. どちらでもよい
3. どちらかといえばなりたくない	7. その他 ()
4. なりたくない	

問 10. 現在、働いている方のみお答えください。あなたの職場では、有給休暇や育児休業などを取りやすい環境にありますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	取りやすい	どちらかといえば取りやすい	どちらかといえば取りにくい	取りにくい	ない どちらともいえない	制度がない	わからない
1. 有給休暇	1	2	3	4	5	6	7
2. 育児休業	1	2	3	4	5	6	7
3. 介護休業	1	2	3	4	5	6	7

問 11. 現在、働いている方で職場に育児休業制度がある方のみお答えください。あなたは、機会があれば育児休業を取りたいと思いますか。(○は1つ)

1. 取りたい	4. 取りたくない
2. どちらかといえば取りたい	5. どちらともいえない
3. どちらかといえば取りたくない	6. わからない

問 12. 現在、働いていない方のみお答えください。あなたが働いていない理由は何ですか。(○は1つ)

1. 家事との両立が困難だから
2. 子育てとの両立が困難だから
3. 介護との両立が困難だから
4. 希望する勤務条件(時間、場所、給与など)の仕事がなかったから
5. 求職しているが仕事が見つからないから
6. 経済的に働く必要がないから
7. 年齢面の制約のため
8. 健康面の理由から
9. 配偶者(パートナー)など家族が望まないから
10. 定年退職したから
11. その他 ()
12. 特に理由はない

社会への参画について

問 13. 次の地域活動の中で、「現在参加しているもの」「今後参加したいもの」についてそれぞれ選んでください。(あてはまるものすべてに○)

(13-1)現在参加している地域活動	(13-2)今後参加したい地域活動
1. スポーツ・サークル活動	1. スポーツ・サークル活動
2. 奉仕活動、福祉活動	2. 奉仕活動、福祉活動
3. 文化、教養、学習活動	3. 文化、教養、学習活動
4. 自治会	4. 自治会
5. 婦人会	5. 婦人会
6. 老人クラブ	6. 老人クラブ
7. 子ども会活動	7. 子ども会活動
8. 消費者活動、住民運動	8. 消費者活動、住民運動
9. PTA活動	9. PTA活動
10. 政治活動	10. 政治活動
11. その他()	11. その他()

問 14. これまで男性は、比較的家庭生活(家事・育児・介護など)や地域活動への参加が少なかったと言われていますが、男性の参加を促進するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は2つまで)

1. 男性の家庭生活や地域活動への参加を促進するための啓発活動を行う
2. 地域活動に関する情報提供を積極的に行う
3. 労働時間を短くして余暇を増やす
4. 仕事と子育ての両立を支援する体制を整備する
5. 企業など職場における理解を得やすい環境づくりを推進する
6. 男性の家事・育児・介護などに関する技能を高めるような講座を開催する
7. わからない
8. その他()

問 15. 自治会やPTAなどの活動で、女性のリーダーが少ないようですが、その原因は何だと思いますか。(○は2つまで)

1. 責任ある地位につきたくないから
2. 家事・育児に忙しく、地域活動に専念できないから
3. 組織活動の経験が少ないから
4. 指導力のある女性が少ないから
5. 女性がリーダーでは女性がついてこないから
6. 女性がリーダーでは男性がついてこないから
7. 女性がリーダーでは軽く見られるから
8. 男性がリーダーとなるのが社会慣行だから
9. わからない
10. その他()

問 16. あなたは、男女ともに「仕事と仕事以外の生活の調和」をはかり、充実した生活を送るために、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 育児・介護休暇制度を利用しやすいように代替要員の確保など職場環境の整備
2. 育児・介護休業中の賃金や手当などの経済的支援を充実する
3. 在宅勤務、フレックスタイム制など柔軟な勤務制度の導入
4. 残業時間を減らすなど、年間労働時間の短縮
5. 保育所や学童保育の整備、保育時間の延長など保育内容の充実
6. 管理職の意識や男性中心の職場運営の見直し
7. ホームヘルパーや介護施設の充実
8. パートタイマーなど非正規職員の労働条件の改善
9. 職務上必要な教育や訓練などの機会、内容の充実
10. 男女がともに仕事と家庭を両立していくことに対して、周囲の理解と協力があること
11. わからない
12. その他()

問 17. あなたは、今後、もっとさまざまな職業分野で指導的地位に占める女性の割合が増えたほうがよいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. よいと思う | 4. よいと思わない |
| 2. どちらかといえばよいと思う | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかといえばよいと思わない | 6. わからない |

問 17-1. 問 17 で「1」または「2」と回答した方のみお答えください。次の職業や役職において、今後、女性の割合がもっと増えるほうがよいと思うのはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 国会議員 | 8. 学校の校長・教頭 |
| 2. 県議会議員、市町村議会議員 | 9. 企業の管理職 |
| 3. 県知事、市町村長 | 10. 起業家・経営者 |
| 4. 国家公務員・地方公務員の管理職 | 11. 農協・漁協の役員 |
| 5. 裁判官、検察官、弁護士 | 12. 自治会長 |
| 6. 医師 | 13. その他() |
| 7. 大学・研究機関などの研究者 | 14. わからない |

問 18. 政策決定の場へ女性の参画が増えることによって、社会がどう変化すると思いますか。(○は1つ)

1. 政治が身近になる
2. 男性中心の考え方に変化が生じる
3. 男女共同参画社会に向けて施策が推進される
4. 行政に対する要望がきめ細くなる
5. 何も変わらないと思う
6. わからない
7. その他()

問 22. 出生率を上げるために行政が推進すべき施策として何が重要だと思いますか。
(○は3つまで)

1. 保育内容の拡充(時間延長や一時保育、病後児保育など)
2. 自宅に子育て支援者を派遣する子育てヘルパーサービスの実施
3. 出産手当や児童手当の増額
4. 保育所などの保育料を補助する
5. 教育費・住宅費・衣食費などを補助する
6. 子どもがのびのびと遊べる場づくり
7. 地域の子育てネットワークづくり
8. 出産・子育てを相談できる窓口の整備
9. 柔軟な勤務体制の導入を推進
10. 育児休業をとりやすい雰囲気づくりを推進
11. 男性の家事や育児への参加を啓発する
12. パートナーとの出会いの場づくりの支援
13. わからない
14. その他()

高齢者介護について

問 23. あなたはご自分の老後について、不安に思うことは何ですか。(○は3つまで)

1. 働きたくても仕事がないこと
2. 配偶者(パートナー)に先立たれること
3. 子どもが世話してくれるかどうかわからないこと
4. 適当な話し相手がないこと
5. 適当な趣味がないこと
6. 介護してくれる人がいるかどうかわからないこと
7. 生活費のこと
8. 健康のこと
9. 住居のこと
10. その他()
11. 特に不安はない

問 24. 将来もし、あなたが寝たきりなどになったら、誰に介護してほしいですか。(○は2つまで)

- | | | |
|---------------|----------------|------------|
| 1. 配偶者(パートナー) | 5. 娘の夫 | 9. 施設などの職員 |
| 2. 息子 | 6. その他の親族 | 10. その他 |
| 3. 息子の妻 | 7. ホームヘルパーなど | () |
| 4. 娘 | 8. 地域の人・ボランティア | |

男女共同参画の推進について

問 25. 男女共同参画社会の実現に向けて、どのような取り組みが必要だと思いますか。
(〇は3つまで)

1. 広報誌や講演会などによる男女の平等と相互理解についての啓発
2. 学校などにおける男女平等教育の推進
3. DV(ドメスティック・バイオレンス)などの根絶のための取り組み
4. 職場における格差の是正や女性の労働条件の改善
5. 育児・介護休業制度の普及促進
6. 育児・保育事業の充実
7. 職業訓練、職業相談の充実
8. 地域コミュニティー活動における男女共同参画の推進
9. 審議会などの委員への女性の登用
10. 女性リーダーの養成
11. 各事業所に男女共同参画の推進を担当する部署を設置すること
12. 男女共同参画に関する苦情・相談窓口を設置すること
13. 男女共同参画条例の制定
14. 男女共同参画都市宣言
15. わからない
16. その他()

問 26. 男女共同参画についてご意見がありましたら自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、

1月31日(金)までにご返送ください。